

衛生学・公衆衛生学 第5版第1刷, 第2刷リーフレット

頁	行	誤	正	
17	7行	世界的な規模で	世界的にも	
		永く生存しても	永く生きても	
	9行	健康余命ともいう	[削除]	
	11-12行	日本でも、健康日本21の活動評価指標として導入をすすめている。日本人の健康寿命は2004(平成16)年に男73年、女78年で男女とも世界最長であった。平均寿命との差は男6.3年、女7.3年	日本でも、国民の健康づくり運動である「健康日本21」での活動評価の目標としてこれを位置づけている。日本人の健康寿命は平成19(2007)年に男73年、女78年で、それぞれ世界第2位、第1位であった。平均寿命との差は男6.2年、女7.1年	
	13行	2006	2009	
35	下5行	重要な起炎菌である。治療が遅れると	重要な起炎菌である。入院治療が必要になる肺炎に多くみられる。治療が遅れると	
37	2行	肺炎の原因菌としてはもっとも頻度が	外来で治療可能な肺炎の原因菌として頻度が	
202	下18行	軍隊や、	軍隊をはじめ、	
209	下2行	2010年名古屋で	2010年メキシコで	
229	健康日本21の枠内	2行	地域特性を加味してそれぞれの10ヵ年計画を策定・実行し、平成23(2011)年最終報告を行った。  [※第1刷では“政令市および市町村は、地域特性を加味してそれぞれの10ヵ年計画を策定し、実行しつつある。”となっています]	それぞれの10ヵ年計画を策定・実行した。平成23(2011)年に目標に対する達成度の最終評価が行われた。さらに10年後を目標に「第二次健康日本21」が策定された。
		6行	すべての人が、健康で明るく	健康で明るく